



2017年12月に小笠原村に設置されたマンホールは、一般の方からの応募63点の中から選ばれた作品がモチーフになっています。作者は作品について、「冬の小笠原の海を泳ぐクジラのプリーチングを中心として、南国のイメージである太陽と夜空に流れる流れ星をイメージしてデザインしました」と語っています。プリーチングとは、クジラのパフォーマンスの一つで、体を海面から高く持ち上げる大きなジャンプのことです。このプリーチングには、腹から海面に落ちるパターン、背中から落ちるパターンの他、横方向やスピンなど様々なパターンがあり観る人を楽しませてくれます。また小笠原は、亜熱帯の動植物が息息し、陸のアクティビティも多彩です。ぜひ一度遊びに訪れてみてください。

カラーマンホールは、父島東町に2カ所、西町に1カ所設置されています。また3月には、夕日タイプのクジラのカラーマンホールが父島東町に設置されましたので、ぜひそちらも探してみてください。

交流自治体のマンホール蓋展開催!

今回ご紹介したマンホール蓋をはじめとする、交流自治体のマンホール蓋が杉並に大集合します。色鮮やかなマンホール蓋が一堂に会する様子はとても圧巻。ぜひ見に来てください。

日時▶ 4月17日(土)~5月1日(土)
初日と最終日以外の土・日・祝は除く
8:30~17:00

場所▶ 区役所1階ロビー・2階区民ギャラリー

※各交流自治体のデザインマンホール蓋は上記の期間中、杉並区役所内にて展示されるため、各交流自治体での展示は6月頃以降となります。

杉並区内に カラーデザインマンホールが登場!

杉並区公式アニメキャラクターの「なみすけ」たちと、区内のイベントや史跡を組み合わせたデザインマンホールが、区内各所に設置されています。今年の夏頃には、新たなマンホールも登場予定ですのでぜひ探してみてください。

新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、マンホールカードを配布予定です。配布開始日や配布場所などの詳細情報は、区ホームページをご確認ください。



<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/shigoto/kankou/1057047.html>



泳ぐ宝石といわれる「錦鯉」は、19世紀前半に現在の小千谷市と長岡市の一部で食用の鯉が突然変異で色づいたものが最初といわれています。その後、観賞用に改良を重ねられ、今の美しい錦鯉が刷り上げられました。小千谷市のマンホールには、特に人気の高い御三家のひとつ「紅白」が描かれています。錦鯉のまち小千谷ではマンホール以外にも、駅前の地下道へ続くトンネルや自動販売機のラッピング等に錦鯉がデザインされています。まちに隠れる錦鯉を探してみてください。カラーマンホールは、本町通り商店街アーケード内の他、18カ所に設置されています。

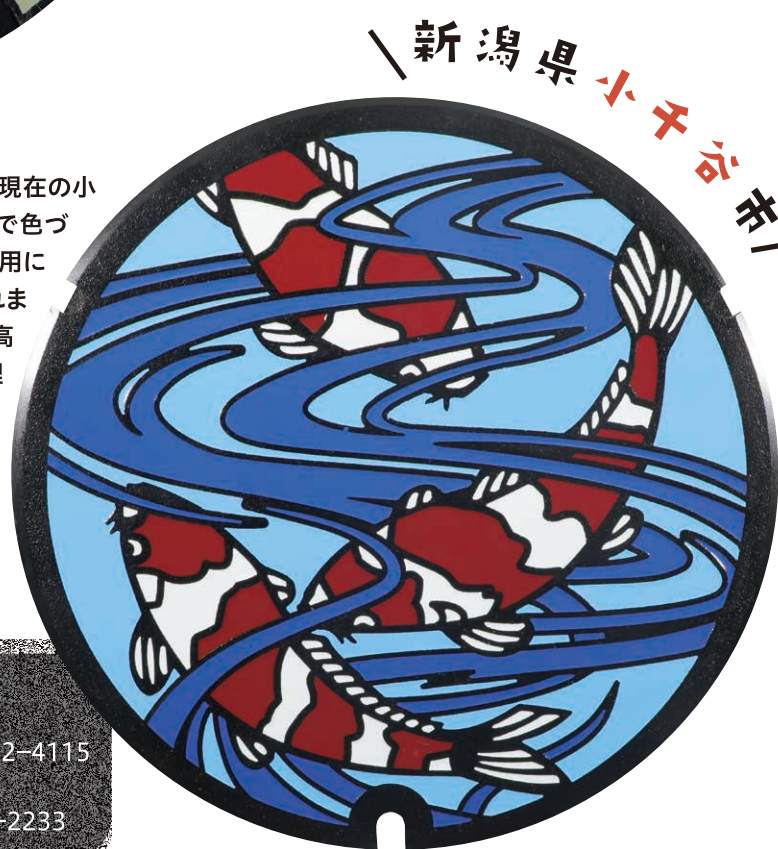
●マンホールカードの配布場所
(平日)小千谷市ガス水道局
新潟県小千谷市千谷川1-13-1 ☎0258-82-4115
(土・日・祝日)小千谷市錦鯉の里
新潟県小千谷市城内1-8-22 ☎0258-83-2233



青梅市のマンホールには、公式キャラクターの「ゆめうめちゃん」が描かれています。平成21年に国内で初めてウメ輪紋ウィルスが発見され、市内だけで4万本を超える梅の木が伐採されました。平成28年秋にようやく再植栽が認められ、梅の里復興へと活動が続けられています。そんな中、平成29年にゆめうめちゃんは、梅の里復興のシンボルとして誕生しました。カラーマンホールは、青梅駅前の他、市内8カ所に設置されています。

名寄市のマンホールには、合併をする前の旧風連町のシンボルキャラクター「風夢くん」が郷土芸能に挑戦する姿が描かれています。郷土芸能の一つ「風連御料太鼓」は、地域の青年たちが不用になった漬物樽やしょうゆ樽をたたいて豊作を祝ったことが誕生のきっかけです。その後、有志による連日の練習や、住民たちからの太鼓や衣装の寄贈などによって活動が発展し、いまや町内外のイベントに欠かせない郷土芸能となりました。このように、合併前の自治体の名前が残っているのもマンホールならではのですね。カラーマンホールは、「すなっく雅」の前の歩道に設置されています。

●マンホールカードの配布場所
道の駅「もち米の里☆なよろ」
北海道名寄市風連町西町334番地1
(国道40号沿い) ☎01655-7-8686



雄大な富士山を背景に、有名な忍野八海の湧池、水車小屋、ハリモミ林などが描かれているのは忍野村のマンホールです。このデザインの基になっているのは、千円札の裏側の富士山の写真を撮影した写真家の岡田紅葉の作品です。忍野村にある美術館では紅葉の写真を鑑賞することもできるので、忍野八海と一緒に訪れてみてください。

忍野八海の「八海」という名は、江戸時代の富士山信仰集団「富士講」が富士山登山の際に8つの湧泉を巡礼する「八海めぐり」という言葉が由来となっています。忍野八海の8つの池にはそれぞれ龍神が祀られ、石碑には和歌が刻まれています。パワースポットとしても名高く、国内外問わず多くの観光客が訪れます。

カラーマンホールは、村役場と小学校に挟まれた道路に2カ所設置されています。

●観光スポット
忍野八海
☎0555-84-4221
忍野村観光協会
岡田紅葉
写真美術館
山梨県南都留郡忍野村
忍草2838-1
☎0555-84-3222



●観光スポット
青野川の河津桜

●マンホールカードの配布場所
南伊豆町観光協会(道の駅「下賀茂温泉 湯の花」内)
静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂157-1 ☎0558-62-0141



仲睦まじい様子の村の鳥・シジュウカラのまわりに村の木・オオヤマザクラ、村の花・ミズバショウがカラフルに描かれています。ミズバショウは、雪深い裏磐梯の冬を越え、春の便りを届けてくれます。村内に数ある群生地はそれぞれ標高が異なるため、長い期間楽しむことができます。カラーマンホールは、村役場に展示されています。



●福島県北塩原村



旧吾妻町と合併する前の旧東村の花・キキョウが咲き乱れるように描かれています。ちなみに合併後の東吾妻町の町の花は水仙で、4月上旬から中旬頃に町内のあちこちで咲き誇ります。カラーマンホールは、あづま農村環境改善センターに展示されています。

●群馬県東吾妻町